		等専門学	校 開講年	F度 令和06年度 (2	- 1 7			
科目基	礎情報					-		
<u> </u>		0006			科目区分	専門/選	択	
授業形態	{	授業			単位の種別と単位		学修単位: 2	
開設学科	•		通システム学専		対象学年	専1		
開設期		後期		• -	週時間数	2		
教科書/勃	 数材	15-27-73	いのための社会	————————— 統計学(第2版)津島昌第	7 11 - 14 - 1			
担当教員		森脇		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
到達目		14/11/1/1	1 1					
る各種デ る。 到達目標 (1)与えば (2)ヒス	ータの解析 なれたデータ トグラムやタ	手法を身に タを処理し クロス表、i	こ付け、それを明 、その手法を詳終 散布図を適切に記	らかにすることを目的と 田に説明できる。 売み、データ特性を詳細(ごする。これらの内容	解説できる力を身 腎について、下記	につけるとともに、海事社会におい の大きな4項目を到達目標として定	
(3)正規分 (4)統計解	分布や区間技 解析の手法を	隹定を理解	し、応用すること	<u></u>				
ルーブ	リック		1		1			
			理想的な到	達レベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目	11		与えられた 手法を詳細	データを処理し、その 旧に説明できる	与えられたデータ 手法の基本を説明		与えられたデータを処理できない	
評価項目2				ラムやクロス表、散布図 読み、データ特性を詳細 きる	ヒストグラムやクロス表、散布図 を適切に読み、データ特性を説明 できる		ヒストグラムやクロス表、散布B を適切に読むことができない	
評価項目3			正規分布や用すること	P区間推定を理解し、応ごができる	正規分布や区間推定を理解できる		正規分布や区間推定を理解できない	
評価項目4			統計解析の)手法を理解し応用でき	統計解析の手法を	理解できる	統計解析の手法を理解できない	
学科の	到達目標	<u>ー</u> 項目との	 関係					
	-a 専攻科 (
教育方:		,						
	ムサ	%本≣∔ <i>*</i> ⇒	4.1.1点十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二					
概安							研究に不可欠のツールである。本科	
概要		目では	は、統計分析の基	礎的な理論と手法を実際	のデータ分析を通じ	て学ぶ。		
	め方・方法	目では 教科書	t、統計分析の基 計で補助教材に沿	礎的な理論と手法を実際	3のデータ分析を通じ いての講義を行うと	て学ぶ。	研究に不可欠のツールである。本科 実際のデータを用いて演習を行う。	
	め方・方法	目では 教科書 演習は 本科目 講義は	は、統計分析の基 計や補助教材に沿 は関数電卓もしく 間の成績評価は、 は確率・統計の基	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進 レポートなどの提出課題 歴から導入するので、履	のデータ分析を通じいての講義を行うと いての講義を行うと める。 で評価を行う。 修要件は問わない。	ンて学ぶ。 とともに、毎回、!		
授業の進 注意点		目では 教科書 演習は 本科目 講義は 課題の	、統計分析の基 や補助教材に沿 関数電卓もしく の成績評価は、 は確率・統計の基 り提出方法はメー	礎的な理論と手法を実際 って、統計解析手法につ は計算ソフトを用いて進 レポートなどの提出課題	のデータ分析を通じいての講義を行うと いての講義を行うと める。 で評価を行う。 修要件は問わない。	ンて学ぶ。 とともに、毎回、!		
授業の進 注意点 授業の	め方・方法 属性・ <u>履</u> ティブラー:	目では 教科書 演習は 本科目 講義は 課題の	、統計分析の基 や補助教材に沿 関数電卓もしく の成績評価は、 は確率・統計の基 り提出方法はメー	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題 遊から導入するので、関ルで行うので、学内アカ	のデータ分析を通じいての講義を行うと いての講義を行うと める。 で評価を行う。 修要件は問わない。	ンて学ぶ。 とともに、毎回、!		
授業の進 注意点 授 業 の ☑ アク:	属性・履ティブラー:	目では 教科書 演習は 本科目 講義は 課題の	は、統計分析の基準や補助教材に沿まり は関数電卓もしく 日の成績評価は、 は確率・統計の基 り提出方法はメー	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題 遊から導入するので、関ルで行うので、学内アカ	のデータ分析を通じいての講義を行うと める。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ・ウントを必ず取得し	ンて学ぶ。 とともに、毎回、!	実際のデータを用いて演習を行う。	
授業の進 注意点 授業の	属性・履ティブラー:	国では教科書は海路の区では、大学のでは、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、大学のでは、ためのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、ためのでは、たりのでは、たり	は、統計分析の基準で補助教材に沿は関数電卓もしく の成績評価は、 は確率・統計の基 が提出方法はメーク のは でである。 は、 でである。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題 遊から導入するので、関ルで行うので、学内アカ	のデータ分析を通じいての講義を行うといての講義を行うといる。 「で評価を行う。」 「修要件は問わない。」 「ウントを必ず取得し」 「図」遠隔授業対応	で学ぶ。 さともに、毎回、: いておくこと。	実際のデータを用いて演習を行う。	
授業の進 注意点 授 業 の。 図 アク:	属性・履ティブラー:	目では 教科書 演習は 本科目 講義は 課題の	は、統計分析の基準や補助教材に沿まり は関数電卓もしく 日の成績評価は、 は確率・統計の基 り提出方法はメー	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題 遊から導入するので、関ルで行うので、学内アカ	のデータ分析を通じいての講義を行うとある。 で評価を行う。 修要件は問わない。 のウントを必ず取得し	で学ぶ。 こともに、毎回、 いておくこと。 過ごとの到達目標	実際のデータを用いて演習を行う。	
授業の進 注意点 授 業 の 図 アク:	属性・履ティブラー:	国では教科書は海路の区では、大学のでは、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学の区では、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、大学のでは、ためのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、たりのでは、ためのでは、たりのでは、たり	は、統計分析の基準で補助教材に沿は関数電卓もしく の成績評価は、 は確率・統計の基 が提出方法はメーク のは でである。 は、 でである。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題 遊から導入するので、関ルで行うので、学内アカ	のデータ分析を通じいての講義を行うといての講義を行うといる。 「で評価を行う。」 「で評価を行う。」 「修要件は問わない。 「ウントを必ず取得し」 「図」遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 しておくこと。 過ごとの到達目標 統計学が何かを理	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授	
授業の進 注意点 授 業 の。 図 アク:	属性・履ティブラー:	国では 教習は 本科義協の 体上の区 ニング 週 1週	は、統計分析の基準が補助教材に沿は関数電卓もしくの成績評価は、 は関数電卓もしくのの成績評価は、 は確率・統計の基が提出方法はメーク □ ICT 利 □ 授業内容 統計学とは	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題礎から導入するので、層ルで行うので、学内アカ	のデータ分析を通じいての講義を行うとある。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し	で学ぶ。 こともに、毎回、 しておくこと。 過ごとの到達目標 流計学が何かを理解す	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授験 とおって、記述統計と推定を	
授業の進 注意点 授 業 の 図 アク:	属性・履ティブラー:	目では 教科書	は、統計分析の基 計や補助教材に沿 規数電卓もしく 間の成績評価は、 は確率・統計の基 が提出方法はメーク 分 口 ICT 利	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題礎から導入するので、層ルで行うので、学内アカ	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 しておくこと。 過ごとの到達目標 流計学が何かを理解す 計の違いを理解す 確率と確率分布を	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 実務経験のある教員による授 実務経験のある教員による授 実務を持めるとともに、記述統計と推定に る 理解するとともに、記述統計と推定に る	
授業の進 注意点 授 業 の 図 アク:	属性・履ティブラー:	国では 教習は 本科義協の 体上の区 ニング 週 1週	は、統計分析の基準が補助教材に沿は関数電卓もしくの成績評価は、 は関数電卓もしくのの成績評価は、 は確率・統計の基が提出方法はメーク □ ICT 利 □ 授業内容 統計学とは	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進いポートなどの提出課題礎から導入するので、履いで行うので、学内アカー用	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達目標 流計学が何かを理解す で変と確率分布を 度数分布を理解す	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授験 とおって、記述統計と推定を	
授業の進 注意点 授 業 の 図 アク:	属性・履ティブラー:	目では 教演 科書 日本 教育 日本 教育 日本 本書 日本 本書 日本 本書 日本 日本	は、統計分析の基準の 対対では は関数電卓もしく はの成績評価は、 は確率・統計の基 が提出方法はメー 分 □ ICT 利 □ 類業内容 統計学とは 確率と確率分 度数分布とヒ	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、導入するので、学内アカルで行うので、学内アカーカーストグラム	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 しておくこと。 しておくこと。 しておくこと。 しておくこと。 しておくこと。 しておくこと。 しておくこと。 しておくこと。	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による投験 2解するとともに、記述統計と推定を 1るとともにして、記述統計と推定を 2理解する	
授業の進 注意点 授 業 の。 図 アク:	属性・履	目 教	は、統計分析の基 で補助教材に沿く 関数電卓もしく の成績評価は、 の成績評価は、 ので率・統計の基 のは、 位本率・統計の容 にて利 授業内容 統計学とは 確率と確率分 度数分布とと 代表値とデー	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、導入するので、学内アカルで行うので、学内アカーカーストグラム	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定に る 理解する るとともにヒストグラムを作成でき 分散、標準偏差を理解する	
授業の進 注意点 授 業 の。 図 アク:	属性・履ティブラー:	目では 教演 科書 日本 教育 日本 教育 日本 本書 日本 本書 日本 本書 日本 日本	は、統計分析の基準の 対対では は関数電卓もしく はの成績評価は、 は確率・統計の基 が提出方法はメー 分 □ ICT 利 □ 類業内容 統計学とは 確率と確率分 度数分布とヒ	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、導入するので、学内アカルで行うので、学内アカーカーストグラム	のデータ分析を通じいての講義を行うとある。 で評価を行う。 修要件は問わない。 のウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定に る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する	
授業の進 注意点 授 業 の 図 アク:	属性・履ティブラー:	目 教	は、統計分析の基 で補助教材に沿く 関数電卓もしく の成績評価は、 の成績評価は、 ので率・統計の基 のは、 位本率・統計の容 にて利 授業内容 統計学とは 確率と確率分 度数分布とと 代表値とデー	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、導入するので、学内アカルで行うので、学内アカーカーストグラム	のデータ分析を通じいての講義を行うとある。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達目標 流計学が何かを理解する を変数分布を理解する 中央値、平均値、 クロス表を読み取る 属性相関について	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 2解するとともに、記述統計と推定を 3 と ともにヒストグラムを作成で	
受業の進 注意点 授 業 の 図 アク	属性・履ティブラー:	目 教演 本 講課 の 区 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	は、統計分析の基 計学補助教材に対 は関数電卓もし、 はの成績に対 ののででは、基 のがとは、基 がははより、 は確率・統計のを がまます。 がまするとは を変かったとし、 でででする。 でででする。 でですでです。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でで	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、導入するので、学内アカルで行うので、学内アカカストグラムタの散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達目標 流計学が何かを理解する を変と確率分布を 度数分布を理解する 中央値、平均値、 クロス表を読み取る 国性相関について きる	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることが	
受業の進注意点 授業の アクラ	属性・履ティブラー:	目教演 本講課の	は、統計分析の基計分析の基計分析の基計分析の基計の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、導入するので、学内アカルで行うので、学内アカカストグラムタの散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 で立いたを必ず取得し 図 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達目標 流計学が何を理解する 神中値、平均値、 中中値、平均値、 クロスを読み取る はないでは、 をはいる。	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による技会 解するとともに、記述統計と推定を 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することができ 理解し、連関係数を求めることができ	
受業の進主意点 受業の ② アクラ	属性・履ティブラー:	日本 1 日本	は、統計分析の基計分析の基計分析の基計分析の基計分析の表計の表 を	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、導入するので、学内アカルで行うので、学内アカカストグラムタの散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うといての講義を行うといる。 「で評価を行う。」 「で評価を行う。」 「修要件は問わない。 「ウントを必ず取得し」 「図」 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達目標 ではないでを理解する。 ではないででする。 中央値、平均値、 クロス表を読み取る。 国性相関について 数布図の作成がで 可帰分析を理解し	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による技能するとともに、記述統計と推定にる。 理解する	
受業の進主意点 受業の 図 アクラ	属性・履ティブラー:	B A A A A A A A A A	は、統計分析の基計分析の基計分析の表計分析の表計分析の表計の表 を	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、導入するので、学内アカルで行うので、学内アカカストグラムタの散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うといての講義を行うといる。 「で評価を行う。」 「で評価を行う。」 「で評価を行う。」 「で要件は問わない。 「ウントを必ず取得し」 「図」遠隔授業対応 「「「「「「「「」」 「「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」 「」	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達目標 でがかを理分ので理解する。 中ので変かがでででする。 中のでででする。 中のでででする。 は、まを読み取る。 は、まを読み取る。 は、まを読み取る。 は、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またで	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による技 解するとともに、記述統計と推定に る。 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することができる は、中域を求めることができる 、 回帰直線を求めることができる 、 で理解する	
受業の進主意点 受業の 図 アクラ	属性・履ティブラー:	目教演本講課の 上グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	は、統計分析の基計分析の基計分析がは関数が表す。 は、統計分析がはして、基語のでは、基準の	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進しポートなどの提出課題礎から導入するので、学内アカリで行うので、学内アカリアカリアカリアカリアカリアカリアがある。	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 のウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 の子では、 の子では、 の子では、 の子では、 の子では、 できるがでででは、 できるがででできる。 できるができる。 できるができる。 できるができる。 の子では、 のった。 のっ	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による技能を表するとともに、記述統計と推定を理解する るとともにヒストグラムを作成できるとともにヒストグラムを作成できるとともに、作成することができる。 はて理解し、連関係数を求めることができる。 では、回帰直線を求めることができる。 では、回帰直線を求めることができる。 では、回帰直線を求めることができる。 では、回帰直線を求めることができる。 では、回帰直線を求めることができる。 では、回帰直線を求めることができる。 では、回帰直線を求めることができる。 では、回帰直線を求めることができる。	
受業の進主意点 受業の 図 アクラ	属性・履ティブラー:	目教演本講課の 日教演科義題 区 日教演科義題 区 日教演科義題 区 日教演科義題 区 日教演科義題 区 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	は、統計分析のを 計分析のに対する は関数のはでは、 は関数のはでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につく、統計解析手法につける。 は計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題である。 で行うので、学内アカリカーので、学内アカリカーをで行うので、学内アカリカーを関係を受ける。 の散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うとある。 で評価を行う。 修要件は問わない。 のウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 のでは、毎回、 のでは、毎回、 のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による投 実務経験のある教員による投 と理解するとともに、記述統計と推定 るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する なれるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることができ 、回帰直線を求めることができる 、工理解する 理解する	
受業の進注意点 授業の アクラ	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	目教演本講課の 上グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	は、統計分析の基計分析の基計分析がは関数が表す。 は、統計分析がはして、基語のでは、基準の	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につく、統計解析手法につける。 は計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題である。 で行うので、学内アカリカーので、学内アカリカーをで行うので、学内アカリカーを関係を受ける。 の散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達目標 流計学いを率分布を理解する。 主要数分布を理解する。 中中口、表を読み取る 国性相関について要なの作を理について要本 にといいを といいて要素 について要素	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることがで き、相関係数を求めることができる 、回帰直線を求めることができる 、工理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する	
授業の進 注意点 授 業 の	属性・履ティブラー:	目教演本講課の 日教演科義題 区 日教演科義題 区 日教演科義題 区 日教演科義題 区 日教演科義題 区 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	は、統計分析のを 計分析のに対する は関数のはでは、 は関数のはでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につく、統計解析手法につける。 は計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題である。 で行うので、学内アカリカーので、学内アカリカーをで行うので、学内アカリカーを関係を受ける。 の散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 のウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達目標 流計学いを率分布を理解する。 主要数分布を理解する。 中中口、表を読み取る 国性相関について要なの作を理について要本 にといいを といいて要素 について要素	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 実務経験のある教員による授 と理解するとともに、記述統計と推定を さるとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する なれるとともに、作成することができ は知り、連関係数を求めることができ 、回帰直線を求めることができる 、工理解する 、理解する 、理解する 、理解する 、理解する 、理解する 、現定理を理解する 、現定理を理解する	
授業の進注意点 授業の アクラ	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	Part	は、統計分析のに対する。 は、統計分類ないでは、 は、統計の数型では、 は、統計の数型では、 は、では、 に、では、 は、 は、では、 は、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につく、統計解析手法につける。 は計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題である。 で行うので、学内アカリカーので、学内アカリカーをで行うので、学内アカリカーを関係を受ける。 の散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達を の到値を でを の到値を 変数分析を 変数分析を でを 変数分析を でを でを ののがで は、表して のの作を理解した。 との可に のの作を理解した。 ののに ののがで ののがで ののに ののがで ののがで ののに ののがで ののがで ののがで ののがで ののがで ののに ののがで ののがで ののがで ののがで ののがで ののがで ののがで ののがで ののがで ののに ののがで ののに ののがで ののに ののに ののがで ののに ののに ののに ののに ののに ののに ののに のの	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることがで き、相関係数を求めることができる 、回帰直線を求めることができる 、工理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する	
授業の進注意点 授業の アクラ	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	B 1 1 1 1 1 1 1 1 1	は、統計分析のに対している。 対対対対に関いている。 対対対対に対している。 対対対対に対している。 は確定はは、分 「は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につく、統計解析手法につける。は計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題のででで行うので、学内アカリアを関係を受ける。 和 和 和 ストグラム タの散らばり 係数 心極限定理	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 ことの到達を の到値を でを の到値を 変数分析を 変数分析を でを 変数分析を でを でを ののがで は、表して のの作を理解した。 のの作を理解した。 ののに ののがで ののがで ののがで の回に にしたがで ののがで の回に にしたがで の回に にしたがで の回に にしたがで ののがで の回に にしたがで の回に にしたがで ののがで ののがで ののがで の回に にしたいで のに にしたいで のに にしたいで のに にしたいで のに にしたいで のに にしたいで のに にしたいで のに にしたいで のに にしたいで のに にしたいで のに のに にしたいで のに のに にしたいで のに のに のに のに のに のに のに のに のに のに	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることがで でき、相関係数を求めることができる な回帰直線を求めることができる な理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する に理解する に関係数を求めることができる	
授業の進注意点 授業の アクラ	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	Part	は、統計分析のに対している。 対対対対に関いている。 対対対対に対している。 対対対対に対している。 は確定はは、分 「は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、学内アカルで行うので、学内アカー用 布 ストグラム タの散らばり 係数 心極限定理 る差の検定(t検定)	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 で学ぶ。 で学に、毎回、 できに、毎回、 できに、毎回、 できた。 の到達をできた。 の到値を変分でできた。 ののででででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 ののができた。 ののができた。 ののができた。 ののがでは、これでできた。 ののは、これでできた。 ののは、これでできた。 ののは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることがで でき、相関係数を求めることができる な回帰直線を求めることができる な理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する に理解する に関係数を求めることができる	
授業の進注意点授業の受験を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	1	は、統計分析のに対している。 対対対対に関いている。 対対対対に対している。 対対対対に対している。 は確定はは、分 「は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、学内アカルで行うので、学内アカー用 布 ストグラム タの散らばり 係数 心極限定理 る差の検定(t検定)	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 で学ぶ。 で学に、毎回、 できに、毎回、 できに、毎回、 できた。 の到達をできた。 の到値を変分でできた。 ののででででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 ののができた。 ののができた。 ののができた。 ののがでは、これでできた。 ののは、これでできた。 ののは、これでできた。 ののは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることがで でき、相関係数を求めることができる な回帰直線を求めることができる な理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する に理解する に関係数を求めることができる	
授業の進注意点授業の受験を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	1	は、統計分析のに対している。 (統計分析のに対している。 (統計分析のに対している。 (統計の数字 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題ので、学内アカルで行うので、学内アカー用 布 ストグラム タの散らばり 係数 心極限定理 る差の検定(t検定)	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 で学ぶ。 で学に、毎回、 できに、毎回、 できに、毎回、 できた。 の到達をできた。 の到値を変分でできた。 ののででででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがでででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のがででできた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 のができた。 ののができた。 ののができた。 ののができた。 ののがでは、これでできた。 ののは、これでできた。 ののは、これでできた。 ののは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることができる 、回帰直線を求めることができる 、理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する	
授業の進注意点の選挙を対している。 「授業のの選挙を対している。」では、「対している」を対している。 「対している」を対している。 「は、のの選挙を対している」を対している。 「は、のの選挙を対している」を対している。 「は、のの選挙を対している」を対している。 「は、のの選挙を対している」を対している。 「は、のの選挙を対している」を対している。 「は、のの選挙を対している。」を対している。 「は、のの認定を対している。」を対している。 「は、のの。」を対している。 「は、のの。」を対している。 「は、のの。」を述している。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。」を述えている。 「は、のの。。 「は、のの。。 「は、のの。。 「は、のの。。 「は、のの。。 「は、のの。。 「は、のの。。 「は、のの。	属性・履 ディブラー: 画 3rdQ	1	は、統計分析のに対している。 (統計分析のに対している。 (統計分析のに対している。 (統計の数字 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法につは計算ソフトを用いて進レポートなどの提出課題で行うので、学内アカリで行うので、学内アカリアカリアカリアの散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 こともに、毎回、 のがいなこと。 のがいを率を理りでででする。 できるのがのを率をできる。 できるのがのをできるでする。 できるのがのでででする。 できるのがのでででする。 できるのがのでででする。 は、まままでは、まままでは、まままでは、まままでは、まままでは、ままままでは、まままままでは、まままままでは、まままままでは、まままままでは、ままままままでは、ままままままでは、まままままままでは、まままままままま	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることができる 、回帰直線を求めることができる 、理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する	
授業の進注意点 授業の 図 アクラー 授業計	属性・履 ディブラー: 画 3rdQ 4thQ	1	は、統計分析のに対している。 (統計分析のに対している。 (統計分析のに対している。 (統計の数字 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	礎的な理論と手法を実際って、統計解析手法にで進して、統計解析手法にで進しポートなどの提出で、学内アカリンで行うので、学内アカリンで行うので、学内アカリンで行うので、学内アカリンで行うので、学内アカリンで行うので、学内アカリストグラムタの散らばり	のデータ分析を通じいての講義を行うとめる。 で評価を行う。 修要件は問わない。 ウントを必ず取得し ② 遠隔授業対応	で学ぶ。 で学に、毎回、 ができた。 周ごとかいなって。 のかがい確かのでででです。 できるのがいでででする。 のがいを率をできる。 中でものでででする。 はるののが、できるのでは、までは、のが、のでは、では、のが、のでは、では、のでは、では、のでは、のでは、では、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	実際のデータを用いて演習を行う。 実務経験のある教員による授 解するとともに、記述統計と推定 る 理解する るとともにヒストグラムを作成で 分散、標準偏差を理解する れるとともに、作成することがで 理解し、連関係数を求めることができる 、回帰直線を求めることができる 、理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する	

分野横断的能力	0	0